

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2024

5

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 4月例句会	21
川柳吟行会「ぼ」	30
十和田たてがみ川柳会 3月句会報	27
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	20
Infomation	34～

カンテラ

むせこ

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行してから、いろんな行事が復活した。

花見も、食べ歩きやアルコール提供の制限など規制が撤廃され5年ぶりに元のまつりの姿に戻った。うれしい限りである。

もちろん、川柳の句会・大会も以前の姿に戻っている。

川柳は顔と顔をつきあわせて楽しむべきです。座の文芸だもの。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

フェイドアウト持ちかける下弦の月 四ツ屋いずみ

決断はしたがパンツが乾かない まきこ

まきこさん、「パンツが乾かない」って何を決断したのですか？何をするにしたって、濡れたパンツは穿けないし、我慢して濡れたのを穿いたって勝負はできないもんね。にしても、何を決断したのか気になるなあ、ブツブツ…。

B群

手紙なんか書くから冷えていくんだよ 夏草ふぶぎ

なぞなぞが解けない午前二時の亀 須藤しんのすけ

重さなら徒然草の勝ちでしょう 葉 閑女

空いっぱい冬の冬 ねじこまれている 芝岡かんえもん

ふるいたたせたのは灰色のホクロ 鳴海賢治

雲だし字は小さいし独りだし 斎藤泰子

椿落つ死屍累々の残像へ 戒 踊兵

A群

飲み込んだ不平不満が沸騰中 村上あつこ

どん底で藁を掴んだ運に賭け 瀧尻善英

眠れないこのまま老いてゆくのかな 村井規子

書き初めの墨はたっぷり明日も晴れ ひらく

青春ってなんだなんだと老いてきた 三浦蒼鬼

たい焼きのあんこ私の中の母 辻井洋子

三月の重さを少しかき混ぜる ひとり静

忘れてもいいことばかり昼の月 熊谷冬鼓

スパイスをたっぷり効かせ人込みへ 柳本恵子

ミニトマト植えるの私に戻るため 吉田州花

月光に撃たれるのなら乳房から きさらぎ彼句吾

正解は噛みつく前に歯をみがく 宮井いずみ

宮井いずみさん、何に噛みつくこうとしているんですか。「噛みつく」は、広辞苑によると「①噛んで取り付く。歯や牙で攻撃する。くいつく。②強い口調で意見や文句を言う。反抗心を見せる。くつてかかる。」ですが、この句の「噛みつく」はどれなんですよ。次が「歯をみがく」だから、①の「歯や牙で攻撃する」らしいね。いずみさんの磨かれた美しい「歯」で噛みつかれたひと、びっくりするだろうなあ。

C群

戒名のどん尻への五寸釘 笹田隆志

馬鹿だねエ〜運が良いとか悪いとか 奈良一艘

カルメンがぬつと出てくるソーダ割り 小野五郎

に、なったら斜めの方を見上げてね 守田啓子

笹田隆志さん、「戒名」を和尚さんにもう貰ってあるの？「文芸院多化詩大居士」とか。ところで、一番下に「五寸釘」があるってどういうこと？「そこにじつとしていなさい」と、どでかい「釘」が打たれているってことかな…（汗）

奈良一艘さん、「運が良い」とか「運が悪い」とかって考えるひとは「馬鹿」だったの？そうじゃないよね。この「馬鹿だねエ〜」って、「あなたは馬鹿です」ではなく、もっと軽い「お馬鹿さんね〜」って感じで、つまり、揶揄してるんですよ。違うかな。でないとおレ「馬鹿」ってことになります（汗汗）

小野五郎さん、この「ソーダ割り」って何の「ソーダ割り」ですか？飲み物を「ソーダ水」で割ったものが「ソーダ割り」だから、日本酒、梅酒、ワイン、ジン、焼酎、ウイスキー、はたまたブランドーのソーダ割りなどいろんなのがあります。でも、「カルメン」が出てくる「ソーダ割り」って聞いたことはありません。

あのお、「カルメン」というジプシー女にぜひともお会いしたいので、今度の飲み会でそれ作ってもらえませんか？五郎マジック、楽しみです！

守田啓子さん、いきなり「に、なったら」ってどうなっちゃってるんですか？先月はいきなり「の、あとには」だったし…。ところで、この「に、」の前には何かがあったんですよ！それを読者に考えさせるため、わざとこういうふうにしたんでしょ？読者は、こんなふうに書かれると興奮して「シマウマ」じゃないかとか、いや「ブーチン」でしょとか考えてしまうものね。あれ？「斜めの方を見上げてね」だから、もしかしたら、鳥とか蝶々とか虻とか空を飛ぶものかもしれないですね。それとも、「六月」とか「ゆうやけ」とか格好つけたものかな…。ああ、悩ましい。

おかじょうぎ川柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅4月月間賞

の、あとには春泥にまみれたガラホ

守田啓子

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

手紙なんか書くから冷えていくんだよ
ぶっちゃけて言うよと吹きこぼれてしまう
約束を破つてみたらと玉手箱
化粧したばかりの満月の破れ目
新月のペンキ塗りたての夜空

先月号のお気に入り
哭く時間、鼻嘔む時間、翔ぶ時間 奈良一艘
最後に翔ぶって、翔へてよかったなあと。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

ふるいたたせたのは灰色のホクロ
ボールペンきのうは赤で今日は青
残された余生です無色透明
こどもの声がきこえないけものみち
ひかげの子ころころころころがりて

先月号のお気に入り
バラードは目下解体修理中
リズム感がよかったです。おもしろい。 宮井いずみ

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

ユニコーンに黒い絵の具を塗りたいくる
ゼンマイが歪む乳房を泡立てて
ペストルの銃口かすかにオヤジ臭
馬鹿だねエゝ運が良いとか悪いとか
ギロチンのやり方柚子皮の刻み方

先月号のお気に入り
けど海に行く出廻らしのティーバッグ 守田啓子
ティーバッグがあゝ。バックもありかも…ハッハッハ。
書き出しの「けど」が面白い。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

見せしめのように名前が書いてある
三月の重さを少しかき混ぜる
手をつなげば奥へ奥へとどこまでも
かなしみはケーキの箱を持つように
そんなこんなはゼンマイを巻きましよう

先月号のお気に入り
いづれみなそうなるエロイムエッサイム 奈良一艘
悪魔を呼び出してどうするの

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

書き初めの墨はたつぷり明日も晴れ
ろうそくへ祈りをこめてマツチ擦る
常温で泣けるうちに舟を出す
太陽とカモメの足環が眠る浜
桜貝拾ったはずの浜の傷跡

先月号のお気に入り
次郎柿男性名詞に入れておく 四ツ屋いずみ
言語が違えば世界も違って見えるわけね。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

わたくしは夕陽に逃げたことはない
太陽に向かい走っただけのこと
若いとか老けたとかなど言わないで
従順に時に一途にまつしぐら
とらえ方ひとつで鈴なりの道を

先月号のお気に入り
なんでも叫べは必殺技になる 叫べ Sin
試してみます。

まきや【まきや・青森県青森市】

真っ新に生きていますとベロを出す
その拍手あなたのものよさあどうぞ
老いの形決めてみようかあかね雲
決断はしたがパンツが乾かない
なるようになって五本目缶ビール

先月号のお気に入り
いつもある明日より今日を生きましよう 村上てる
深い言葉です。感銘しました。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

共通点裏を返すと相違点
青春ってなんだなんだと老いてきた
何もかも受け入れてから吐く燻
ネクタイを外すと甘党になれる
コメカミの所為で転院させられる

先月号のお気に入り
記憶があるうちに御飯を食べている 小野五郎
生きることへの執念ですね。

峯島妙

【みねしまえ・大阪府大阪市】

たとえればオムレツ用のフライパン
ビデオから突然君があふれだす
春一番シュレッダーの欠片にも
この次は草食系の彼にする
ありがとうこめて一気に深呼吸

先月号のお気に入り
スッピンで行こう勝負は見えている 熊谷冬鼓
潔いですね。勝っても負けても気持ちいいです。

宮井いずみ

【みやいいずみ・大阪府大阪市】

正解は噛みつく前に歯をみがく
ローリエで煮込むキャベツと根性論
登り坂効果はいちごポッキーで
寝返りが下手なら館はみそ風味
好感の持たれる影でジラフ柄

先月号のお気に入り
待つものはみんな濡れてる曲がり角 米山明日歌
だとしても思いきって曲がっちゃいましょ。きつと爽やかな風が吹いてきます。

守田啓子

【もりたけいこ・青森県三沢市】

人形と複雑骨折な視線
巻いちやえば間欠泉も黙ります
に、なつたら斜めの方を見上げてね
ノルウェー産サーモンときみだれる
詫びに行く4号線を引き連れて

先月号のお気に入り
斜めから見れば空気が軽くなる 瀧尻善英
処世術ですね。空気を軽くしてもう少し頑張らなくっちゃ

柳本恵子

【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

桜咲く愛されかたを聞いておく
バレバレのスクイズ君にしかけてる
竹の花咲いても青竹すくすく
スパイスをたっぷり効かせ人込みへ
京都線前の座席はフランス語

先月号のお気に入り
回れ右ぼくの知らない別世界 瀧尻善英
知らないことが多い、ということはまだまだこの世を楽しめます。

村井規子

【むらいのりこ・青森県大鰐町】

凄くなる私の惚れた人だもの
日本が独立国という偽証
盃に涙零れて辛口に
メジャーイコール大谷なんか嫌な構図
眠れないこのまま老いてゆくのかな

先月号のお気に入り
ブレーキが壊れたチャリの反抗期 瀧尻善英
私の脚の反抗期は長過ぎて困っています。

村上あつこ

【むらかみあつこ・青森県青森市】

飲み込んだ不平不満が沸騰中
剛毛が反抗朝の小競り合い
眠れぬ夜は猫バスに乗ってみる
点線に沿って昨日を切り落とす
嘘つきの舌は絶対抜いてやる

先月号のお気に入り
いい話しか聞かえない口バの耳 瀧尻善英
独裁者の耳はみんな口バの耳だよね きつと

葉閑女

【ようかんによ・青森県青森市】

ピーマンの肉詰め明日は健診日
上弦の月がバナナを読んでいる
重さなら徒然草の勝ちでしょう
咲きなさい私がゴミになる前に
クレソンを思い出せずに春がゆく

先月号のお気に入り
大地とは崩されてゆくミルフィーユ 宮井いずみ
大地震が起きるたびに大地のもろさを痛感します。

吉田州花

【よしだしゅうか・青森県青森市】

魔女になるまずスカートを長くする
どの道に来てのバラ科の青りんご
ミニトマト植えるの私に戻るため
錆びてゆく静けさにこそ降るさくら
テトラポットを頼りにしてはなりません

先月号のお気に入り
野葡萄に洒落た廃墟にされちまう 戎踊兵
野葡萄やヘンリー鶯におおわれた家に住み、魔女らしく暮らせたならなんて。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

クラッカー炸裂誕生日のスマホ
越冬のクラス一声町は春
格闘のごとく「第九」ピアノコンサート
通院の印が続く桜雨
半径二キロの生活圏で吹かれてる

先月号のお気に入り
如月を産んだ六十三個産んだ
守田啓子
凄じ表現の仕方。因みにわたしは水無月を・・・こんな
に産んじゃいました。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

持ち方をなんでも試す心太
少しずつ違う淋しき指五本
おいそれと外せぬ梯子ついている
冬の沼まだ言うことがある顔で
ああここが帰るところだね浅田飴

先月号のお気に入り
雪を踏むザクザク過去を切り捨てる
夏草ふぶき
捨てきれぬ屋根の高さに積もる過去

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

齷齪と書いた端から汗をかく
紫玉ねぎとことん彼岸荒れ
ゆくゆくは砂かけばあの片鱗
大なりイコールで決着 よきかな
フェイドアウト持ちかける下弦の月

先月号のお気に入り
どうなのどうなのって前頭葉のパスワード 熊谷冬鼓
パスワードあれもこれも違う…焦りますよね。私はスマ
ホに向かつていつもブツブツ。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

許せますいつかは消える雪も人も
空しさの波が寄せくる午後3時
影だけを追いかけていた20年
草が生え甘いなごりもない空き地
なごり雪友のひと言気にかかる

先月号のお気に入り
韓ドラの行方あずきの煮え具合 辻井洋子
韓ドラもあずきも先を急いじゃだめなんですよ。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

ネクタイに核弾頭が浮きあがる
レクイエムから逃げてくるジャズの泡
分別を失くした生ゴミの叫び
平衡が苦手な耳の岩リング
前例のない挑戦をする祭り

先月号のお気に入り
窓辺からバツハおやつは甘納豆 葉 閑女
いいですねー。

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

蛇穴にダイヤル回したく候
壹錢洋食は面白がつている
線引きを受け入れました夜のブランコ
並木の切れるまで煮詰める苗字
鶏の生き血琵琶湖のかたちして

先月号のお気に入り
つぎつぎと雨を産んでは困らせる 赤石ゆう
そんな日々もありました。何かと何かは反比例するの
しら。

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

何本も引いて楽しい平行線
目は口ほどに語って欲しい口げんか
母親の愛情なんて向こう岸
ドクンドクンもう水平に戻れない
遺伝子を隈なく探す森の中

先月号のお気に入り
不真面目でいいさ地雷は捨てました 夏草ふぶき
そっか、不真面目になれば捨てられるのか。

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

弔詞書く指生臭きままにして
はにかんでしたたかとなるネコヤナギ
子は誰も帰って来ない北帰行
ふる里は住み続けても遠くなり
椿落つ死屍累々の残像へ

先月号のお気に入り
雪を踏むザクザク過去を切り捨てる 夏草ふぶき
捨てきれぬ屋根の高さに積もる過去

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

サプライズで登壇した糠鯨
素っ裸で立ちあがる裏の金
関ヶ原の斬り合いバーコード
海からあがつて来る鮫角灯台
カルメンがぬつと出てくるソーダ割り

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

ルシファー家の黒い瓦へマヨネーズ
腸管は内なる外界 春の雲
別れとはギロチンかしら春の雪
「キリストにならないて」を読むムスタング
七回忌かあさん宇宙旅行中

先月号のお気に入り

蒙古斑から涙腺が剥離した筈だ 奈良一艘
悲しみを虚構のレトリックで表出。直情句より悲しい。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

結論が欲しくて言つた訳じゃない
雲だし字は小さいし独りだし
簡単に酔つてしあわせとはこんな
ここへ来て素敵なからくりに出遭う
生きましようバックミュージックのように

先月号のお気に入り

走りつづける自分が好きだから困る 吉田州花
自分を理解して受け入れているところが大人。魅かれま
す。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

リン叩く無音の線香春彼岸
ゴム長の欠伸が冬の終り告げ
手遅れと知つても突くビンの底
砲弾の森は兵士の虎落笛
小太りを断ち切るための千切りキャベツ

先月号のお気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

眠らせてくれぬ円周率の弾き語り
裏表紙まで読み応えある怒涛
想い出が澱みつづける袋小路
月光に撃たれるのなら乳房から
追伸なのか小鳥のようなキスされる

先月号のお気に入り

約束も詰め込むナスのはさみ揚げ むさし
「お味噌買ってきて」くらいの約束なのだろう。月夜のゆ
びきりなら何にはさむのか？。

熊谷冬鼓【くまがいたうこ・青森県青森市】

新緑の頃ならいいとそれつきり
やれやれは音出ししないのがルール
言い訳は甘酔に漬けておきました
忘れてもいいことばかり昼の月
小分けして明日も今日の書き写し

先月号のお気に入り

自動音声ブブのところを噛んでいる 小野五郎
自動音声といえども意志はあります。

嗟峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

猿の酒さしつさされつヒトとサル
エレキON龍の鱗で爪弾き
深海に五百羅漢の影法師
恐竜の声聞く鳥の聲を聴く
青林檎かじり残して信号黄

先月号のお気に入り

前頭葉も後頭葉も猛吹雪 むさし
雪国の冬はたいへんですね。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

膝を立て象の背中でするオナラ
ジャムパンが親父さがしの旅だった
風船の旅だ覚悟はできている
戒名のどん尻へんの五寸釘
満月のむせび泣く日は孫悟空

先月号のお気に入り

源氏絵巻の所為で50円売げ 岩根彰子
わたしは平家絵巻の所為で〇売げです

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

空いっぱいの冬　ねじこまれている
おはようと微笑んでいる目玉焼き
汚れちまつた俺のランプを拭いている
レットル剥がす　人間がこぼれだす
白濁湯　鬼はどどん溶けてゆく

その時は吸い込んで下さいね　空　守田啓子
その時はきつとピンチの真っ只中。そうか空か…了解致
しました。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

突然に兄の病を知らされる
弱音など吐く兄ではなかったが
大丈夫兄の未来を信じよう
兄一人頼りにしてた甘えてた
兄嫁から頼りにされて空元氣

君は孫と24時間戦えますか　村上あつこ
無理無理。八歳の孫に振り回されてタイム連続。68歳。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

代官所襲う義民のムシ口旗
どん底で藁を掴んだ運に賭け
眞実は菩薩半跏の膝の中
波風は嫌い　仏陀と水すまし
ねちつこい客へ笑顔のご接待

三日間続けることの難しさ　城後朱美
確かに、。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

証明をする瓶には傷がない
三角が四角に惚れて瓶を産む
天然の雪なんですな男装で
姉ちゃんの恋人隠す黒揚羽
黄金もダイヤも友だちが悪い

先月号のお気に入り

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

見せブラ　見せパン　見せていいプーチン
虚しいかどうか寧丸になつてみる
この世から家に着くまでが修学旅行です
ともだち難民に牽制球はこない
想像の糸こんにやくがオフサイド

ご面倒かけますあたし段差です　守田啓子
どうりで。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

フェイスブックカタカタちよつとだけ笑う
海まではもう直ぐバス停の日焼け
今日も明日もさみしいのですひとりつて
神さまの真似してムラサキのバイク
なぞなぞが解けない午前二時の亀

インボイスってなあに本日なめこ汁　土田雅子
消費税申告制度と生活習慣病予防食品。無関係さを装い
ながら誰かが得をする複雑な裏側にニヤリ。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

期限切れ知らずのうちに星になる
お人好しおバカな母が浮いてます
脳天が星になるのを待ってます
迷い込む不思議な日父の命日
君たちの子守歌いまだから

三日間続けることの難しさ　城後朱美
確かに、。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

荒畑点在廢車小屋狸移住
先生も鼻すすするグツと近づく
強烈吸引つばき飛び歯がきしる
フリーソロです人生のちよもらんま
キャベツもドミンゴが好きなんだよ午後

そつとそつとまるいかたちのものすくう　ひとり静
一人しずかに、救い方には修煉が要る。



おかじょうき川柳社：誌上句会

0 番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『島』

選者

真島久美子（佐賀県）

7/31 〆切

Sin（青森県）

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/へアクセスし、「投句する」→「0番線」を選び、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）*発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

辻井洋子（つじいようこ・青森県青森市）

たい焼きのあんこ私の中の母
花粉症素材まるごと取り替える
低気圧砂糖振りかけやり過ぎす
バカボンのパパと一緒に橋渡る
泣き笑いこの世の旅は忙しい

先月号の
お気に入り

沈黙の先にニンジンぶら下げる 一帆

ニンジンぶら下げて話しを促すなんて。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

泣いてみるあがいてみるとやまいだれ
赤い吹雪を連れてきたのはあんただね
「鬱」という字が書けなくて鬱になる
幸せのしつぺ返しがきつと来る
ブギウギ〜！と振りかけてみる黒胡椒

無人駅は自由な発表の場です。

未発表作品5句をお寄せください。

また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれに対する簡単なコメントもお寄せください。

スマホやタブレットで投句する↓



深艘心理

わたくしが揺るがぬように置く言葉

斎藤泰子

(会員雑詠集 無人駅3月号より)

「わたくしが揺るがぬように」ということは、逆説的に言うならば「過去に何度も心が揺らいだ事がある」という事なのだろう。

例えば、あくまでも例えばなのだが、歳はとっても気の強い姑からの虐めとも取れるようなキツイ言葉。それを訴えても、一人息子でマザコン気味の主人は知らぬフリで母親に文句の一つも言えない体たらく。

その事に若い頃から気が狂うほど悩んできたとする。何度家を出よう、離婚しようと思った事か。その度に子供達に辛い思いをさせてはいけない。実家にはもう帰る場所はないし、私が我慢さえすればと耐えてきた。しかし、それもある事件から逆転することになる。

姑がある日突然くも膜下出血で倒れたのだ。幸い命は取

り留めたものの、後遺症の為歩く事も出来ず、言葉にもかなり支障がでた。こうなれば、一人息子の嫁である私が介護するしかない。デイサービスや訪問看護のシステムを何とかうまく使いながら、恨み心は一旦置いて、誠心誠意尽くしたのだ。結果は介護の甲斐もなく2年後に再度の脳出血の為亡くなったのだけれど、ただ救われたのは、介護をする度に涙交じりでの「ごめんね、ありがとうね」の感謝の言葉。初めてお互いの心が通じ合った2年間だったのだ。

で、掲句に戻る。作者の「置く言葉」であるが、多分、いやきつと「諦めず真心で人に尽くせば、何とかなる」なのではないだろうか。チャンチャン。めでたしめでたし。なのだ。

ゴシツク体の

4月6日(土) 午後1時～ アウガ6階 多目的室

▼出席者 (12名)

むさし・須藤しんのすけ・Sin・奈良一艘・渡邊こあき・葉閑女・原口健二・野沢省悟・熊谷冬鼓・守田啓子・笹田隆志・夏草ふぶき

▼投句者 (21名)

安藤なみ・嵯峨山登・吉松澄子・戎踊兵・岩根彰子・米山明日歌・柳本恵子・芝岡かんえもん・旅男・城後朱美・郷田みや・宮井いずみ・坂本清乃・まきこ・村上あつこ・峯島妙・鳴海賢治・まみどり・田中薫・一帆・斎藤泰子

おかじょうき川柳社

4月例会会

席題『変』

青森県逢田村 むさし選

【佳作】

変人で非常識です元気です 葉 閑女
 そこそこはいい男だと言う鏡 野沢省悟
 鉄面皮むけば泡だらけの目鼻 葉 閑女
 うつぶんが溜まる文字化けしてしまう 熊谷冬鼓
 変人であることを忘れてよくわめく 笹田隆志
 老化ではない変身の途中で 野沢省悟
 さくらさくら私ももれなく変である S i n

春というだけで変身したくなる 熊谷冬鼓

肘骨で造った檻を持ってます 夏草ふぶき

手懐けています三越のライオン 須藤しんのすけ

【秀逸】

寝返って夜のとっぺんから落ちる 夏草ふぶき
 変人に変人扱いされている 熊谷冬鼓
 ランダムに織田信長を予約する S i n

【特選】

マヨネーズらしく生きればいいのです 奈良一艘

♯ そうだったのか……。

席題『変』

青森県弘前市 須藤しんのすけ選

【佳作】

変人で非常識です元気です 葉 閑女
 うつぶんが溜まる文字化けしてしまう 熊谷冬鼓
 寝返って夜のとっぺんから落ちる 夏草ふぶき
 鉄面皮むけば泡だらけの目鼻 葉 閑女
 雪だるまお前もマスクつきたいか むさし
 そこからの清水寺が胃の中に 奈良一艘
 春というだけで変身したくなる 熊谷冬鼓

そこそこはいい男だと言う鏡 野沢省悟

マヨネーズらしく生きればいいのです 奈良一艘

変顔のモナリザがいる左心室 むさし

【秀逸】

変死者の隣りに自動販売機 笹田隆志
 わたくしの存在意義は烏賊の腸 奈良一艘
 2周目の人生なので赤にする S i n

【特選】

ランダムに織田信長を予約する S i n

♯ やっぱり変人っていいですね。

宿題『ケース』

青森県青森市 笹田隆志 選

【佳作】

箱入りの夫もごはんくらい炊く
 初めての人と衣装ケースの中
 ケーキ屋のケースに店主の鼻の穴
 入れ物がないので口でうける愛
 ピロケース風味はそうねヨーグルト
 色褪せた革命だけが残るケース
 海鳴りのよく染みこんだケースです
 ご了承くださいケースバイケース
 ケースごと行方不明になった愛
 尖った鉛筆がいるペンケース
 ケースを開けばタイムスリップしてしまう
 ケースバイケース上手に嘘をついてきた
 その時は俺をまぶすと美味くなる
 ケースbyケースケーススタディのアマダ

葉 閑女
 郷田みや
 宮井いずみ
 米山明日歌
 岩根彰子
 柳本恵子
 米山明日歌
 吉松澄子
 村上あつこ
 城後朱美
 村上あつこ
 城後朱美
 城後朱美
 芝岡かんえん
 旅 男

地球儀が廻るケースのパンが焦げている
 そのときはペロリと舌を出しなさい
 眠そうなデンワボックス退職日
 case1燃えにくいところから順に燃やしましよ
 コメンテーター舌をケースに入れたまま
 透明にしてほしいのよ棺桶は

奈良一艘
 むさし
 夏草ふぶき
 奈良一艘
 野沢省悟
 まみどり

【五客】

発酵をするまで漬けておく事例
 静寂が閉じこめてあるペンケース
 筆箱にねずみ火花を飼っている
 大法螺をスーツケースに入れて発つ
 父は犬おまけに母は宇宙人

嵯峨山登
 戎 踊兵
 野沢省悟
 原口健二
 宮井いずみ

【人位】

煙草入れまだあの人が棲んでいる

峯 島 妙

【地位】

ケースー「尻尾が生えてしまったら」

むさし

【天位】

棺桶からちょっと待ってと声にする

夏草ふぶき

『いかに川柳かなというペーソスとユーモアのある句です。』

宿題『世』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

その角を曲がれば世界欠けている
 世が世ならお姫さまかもしれない
 どちらの世にチュリップ咲いている
 左遷地と気付かず生きているこの世
 コンビニのスイーツ世界は君のもの
 世間では春分の日が天麩羅屋
 仮の世を目玉親父として生きる
 あの世への渡り廊下を制作中
 此の世とは鉄の匂いの花時計
 鎖骨ごと未来へ連れてってあげる
 あの世とはとても七色唐辛子
 世が世なら非国民だというレシピ
 地球儀をまわす美味しいチョコレート
 通行禁止をZ世代が仕切ってる

嵯峨山登
 渡邊こあき
 野沢省悟
 守田啓子
 宮井いずみ
 笹田隆志
 戎 踊兵
 坂本清乃
 岩根彰子
 須藤しのすけ
 吉松澄子
 葉 閑女
 須藤しのすけ
 笹田隆志

荒れる世の話いつもの代名詞

安藤なみ

世を捨てて人参の葉になったのね

野沢省悟

スマホの裏のあの世が映る覗き穴

むさし

地下足袋で泳ぐ第四コーナー

岩根彰子

履物をそろえこの世に生まれ出る

鳴海賢治

世間体少しの女偏だけで

田中 薫

【五客】

私を守れ世界を敵に回しても
 浮世絵の女から来る詐欺メール
 しんみりと味わう夫の枯れたトコ
 東西南北この世のどこから畳もうか
 世の中がソフトクリームだったとは

須藤しのすけ
 むさし
 夏草ふぶき
 米山明日歌
 郷田みや

【人位】

平和はたぶん消えるんですねザラメ雪

芝岡かんえん

【地位】

あの世があるからゆっくり目を閉じる

城後朱美

【天位】

これでもかといふ十四世のタイツ

峯 島 妙

『最上級の褒め言葉として、「アホやなあ」(笑)』

宿題『自由詠』

青森県弘前市 奈良一艘選

【佳作】

煮沸して濾過して消えぬドブ臭さ 戎 踊兵
 踏ん張って生きるドミノの一個だし 斎藤泰子
 だとしてもよろよろ走り続けます まきこ
 さくら咲く忘れてあげることにした まみどり
 光源氏をスマホで飼育しています 野沢省悟
 ごめんねを飲んで一気に八分咲き 宮井いずみ
 人間のツノがぶつとくなっている 芝岡かんえもん
 カロリーもノンカフェインもメルカリへ 峯島 妙
 たましいを洗ういつものさみしい目 須藤しんのすけ
 重いなあぶら下がってる八代亜紀 芝岡かんえもん
 抜け道を二本みつけてから独り 米山明日歌
 自画像の青い部分が燃えている まきこ
 遅咲きのしゃぼん玉です飛びますよ 葉 閑女
 薔薇の字が書けなくなった眠ります まみどり

十和田たてがみ川柳会三月句会

○日時 3月16日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題『窓』 村上 昌子 選

【平抜き】

しあわせが逃げないように窓を拭く 斉藤 蛙井
 反旗振る心の窓は施錠中 木村奈生美
 春うらら貴方の窓に贈る風 高田 幸柳
 窓際で読み込む明日の風の向き 木村奈生美
 八甲田窓を開ければ元気呉れ 斉藤 蛙井
 先生の声うつろです窓の外 佐藤まさあき
 空けておく心の窓は大らかに 白山 修治
 受験の子窓煌煌と夜が更ける 佐藤まさあき
 安宿で窓を開けたら隣り窓 福田 芳記

さざ波に翻弄された生かされた 一 帆
 桜はらはらはらうらはらな答え 守田啓子
 稼働率ゼロの右手に貼る湿布 夏草ふぶき
 ずるずるべたべた紅枝垂れを叩く 岩根彰子
 じゃあ先に運命はじめてるね S i n
 さくらもこもさくらももちりぬるを 守田啓子

【五客】

相談の結果やわらかオムライス 吉松澄子
 酒になる糞はみんな毒である 野沢省悟
 喉越しのいい言葉だけいたたくわ 熊谷冬鼓
 火曜日に予感どおりの嘘がくる 安藤なみ
 マスク外してブラックホール見せようか むさし

【人位】

ケチャップでいいのに理屈かけるから 宮井いずみ

【地位】

のどごしのいい遺骨にはなれそうだ 野沢省悟

【天位】

ゴシック体の吐息を見たくないですか むさし

※ 見たい気もするし見たくない気もします(汗)

【秀逸】

窓開けて心地よい風 回復期 瀧尻 善英
 汽車の窓貴方の名前書いて消し 高田 幸柳

【特選】

輝ける明日がみえそう窓を拭く 瀧尻 善英

■席題『窓』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

八甲田窓を開ければ元気呉れ 斉藤 蛙井
 窓際で愛犬ココロほっこりと 久保あざみ
 空けておく心の窓は大らかに 白山 修治
 反旗振る心の窓は施錠中 木村奈生美
 安宿で窓を開けたら隣り窓 福田 芳記
 わだかまり窓を開ければ消えてゆく 斉藤 蛙井
 窓際で寒さに耐えて生きている 高田 幸柳
 しあわせが逃げないように窓を拭く 斉藤 蛙井
 車窓から駅弁買った日の想い 佐藤まさあき
 【秀逸】
 汽車の窓貴方の名前書いて消し 高田 幸柳
 受験の子窓煌煌と夜が更ける 佐藤まさあき

【特選】
春つらら貴女の窓に贈る風

高田 幸柳

■宿題 『未だ未だ』
【平抜き】

久保あざみ 選

山頂の春はまだまだ先の先
食べ頃は未だ未だとする鍋奉行
捜し物まだまだ出ないえいどこだ
老い重ねまだまだ妻の手の平だ
人生は百年オレはまだ米寿
走る孫今年捕獲範囲内

城後 朱美
佐藤まさあき

福田 芳記
齊藤 蛙井

瀧尻 善英
高田 幸柳

まだ居てよタマに引き留められて生き
物価高続きサイフが泣いている
お迎えは未だ未だ先と祖母卒寿

村上 昌子
村上 昌子

佐藤まさあき

【秀逸】

未だ未だと生きる意欲に捲る辞書
熊だつて生きるためまた里へ下り

木村奈生美

瀧尻 善英

【特選】

シベリアの父の遺骨が帰らない

瀧尻 善英

■宿題 『丸い』
【平抜き】

齊藤 蛙井 選

一言の温み心を丸くする

木村奈生美

仏壇に安らぐ祖母の背が丸い

佐藤まさあき

六十を過ぎたら徐々に丸くなれ

高田 幸柳

人並みに社会にもまれ取れた角

高田 幸柳

おむすびの円周率があつたかい

瀧尻 善英

なにもかも抱いて桜の輪に入る

村上 昌子

角取れて身体も丸く気も丸く

村上 昌子

愛されて愛して丸い夫婦の和

木村奈生美

死に際はきつと丸くなるだろう

城後 朱美

もう少し丸くなるまで耐えてみる

高田 幸柳

コンパスで描くここまでが放射能

瀧尻 善英

ありのまま流れにまかせ丸くなる

白山 修治

プーチンの四角地球は丸いのに

城後 朱美

【秀逸】

始末書を書いて消ゴム丸くなる

瀧尻 善英

丸かった〇が歪になつてゆく

城後 朱美

【特選】

コロコロとだいぶ旅した石になる

村上 昌子

■宿題 『真ん中』

互選

①真ん中で裏金踊る「あめでらな」

磯島 雅男

②真ん中にあなたへブレぬ愛がある

村上 昌子

③円満な家族の真ん中 母が居る

佐藤まさあき

④真ん中で安堵はしたが四面楚歌

高田 幸柳

⑤真ん中でのほほしてたら押し出され

齊藤 蛙井

⑥川の字で寝た娘が今や母になる

瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会五月份会案内◆

【時】5月18日(土)午前10時から 【所】十和田労働

福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『群れる』高田幸柳選

／『矛盾』木村奈生美選 【互選】(二句詠)『無策』当

日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】一題

(三句詠・共選)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一

名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高

「チャレンジ川柳！
むさし流！」のブ
ログはこちら

The image shows a screenshot of a blog titled "チャレンジ川柳！むさし流！". The blog content includes several entries with titles like "滑落2 滑らない滑り白だけ信じます" and "滑落3 スロースロークイックそれが老後の滑り方". There is a QR code on the right side of the page, and a photo of a man wearing a hat and glasses, holding a small card. The background of the blog has a stylized illustration of a landscape with a river and trees.

参加者募集

川柳吟行会「ぽ」

課題「根」

この度の課題は「根」。改めて辞書で「根」を引いてみた。広辞苑には物が他の物に付く部分。もと。ねもと。または地の中。地下等と載っている。

さて、つい先ごろ老朽化などの理由で3月31日「棟方志功記念館」が48年の歴史を閉じた。コロナ前には会の皆さんと吟行した場所でもある。記念館の所蔵品は県立美術館に移管していくという。世界的板画家の棟方志功ではあるが、やはり根っこは現在の建造物の地下に静かに深く「オモダカ」と共に伸び続けると信じている。(福田文音)

【6点】特×1・佳×4

ユーチューバーだった屋根の上のカラス 城後朱美

【善江】カラスだとさもありなん、と感服いたしました。発想のおもしろさが素敵です。【吉見恵子】カラスにユーチューバーが似合い過ぎで納得しました。【与生】ユーチューバーミロくでもない奴というのがようやく知られるようになった。であればカラスは付き過ぎかも。【州花】屋根のカラスの過去は。【五郎】カラスならあり得る。納得。

つまりいた春の根元から序曲 福田文音

の山の中の墓参りの景。【こあき】春彼岸なので目にとまりました。

【4点】特×2

根詰まりのまんま見上げるお月様 宮井いずみ

【州花】お月様と語るって良いことです。【文音】どうなるものでもないけれど、お月様は見るだけで素直になれる。

【4点】特×1・佳×2

ぐるぐるしたわ人形の首根っこ 岩根彰子

【啓子】掴めると思った首根っこはぐらぐら・・・怖い。真摯な人間関係を。【善江】乱暴なことをしているのに口語体。狂気とアンニュイな雰囲気が好き。【五郎】玩具から不穏な雰囲気をはき出した。

根を追ってどすんと突き当たる自分 吉田州花

【吉見恵子】どこのつまりは、物事の殆どは自分自身に突き当たるということですね。【いずみ】自分に突き当たるって何かアニメ的で楽しい。【冬鼓】元をただせば自分だと気づく。「どすん」に衝撃感。

【5点】特×2・佳×1

根っこにはキライがからみついている 峯島妙

【こあき】キライは好き嫌いの嫌いと言いました。心の底を覗かれているようなドキドキ感がある。【五郎】キライとしたことで様々な映像が見えてくる。【吉見恵子】上手いかわからないのは、根っこに人間嫌い絡みついているのかな。

【5点】特×1・佳×3

墓前での根っこのはなし実のはなし 熊谷冬鼓

【さち】故人からたどっていく、ルーツや花や実のはなし。思い出してあげることもご供養ですね。知らないこともポロッとこぼれ出たりして哀しい。【朱美】つい正直に話したくなる話。危ない危ない。【彰子】まるで我が家

同じ樹に姉の花だけ紅が濃い

滋野さち

【冬鼓】根っこが同じ身内ならではの微妙な感情。姉は姉で自分に無い色を妹に感じているに違いない。【柳本恵子】家族ならではの人間関係の難しさをよく表現されていますね。【ふぶぎ】華やかに見える姉を慕っているのでしょうか。仲良し姉妹だったらしいですね。

血糖値高めの窓にヒヤシンス

熊谷冬鼓

【与生】へ血糖値／高めの窓に／ヒヤシンスへのかへ血糖値高め／の／窓にヒヤシンスへのか。【妙】ヒヤシンスを置けば血糖値が下がる気がしてきます。【ふぶぎ】ヒヤシンスのスツと伸びる葉が、血糖値を鎮める役目をしてくれるのか。この対比が妙に納得でした。

【3点】特×1・佳×1

垂乳根の辛夷は咲いておりますか

守田啓子

【妙】「根」の題で「垂乳根」をもってこられたのがまず素晴らしいです。辛夷の問いかけもとても爽やかです。余韻も気持ちいいです。【隆志】キャンパスの辛夷は毎年、みごとでした。

芹の根のくんずほぐれつあのねのね

笹田かなえ

【ふぶぎ】芹の根は人間関係でしょうか、自分のことでしょうか。絡んでしまったことを、あのねのねと軽快な言葉で伝えようとしているのが愉快だと思いました。【いずみ】芹の根の白くて絡まっている様子とおのねのねの取り合わせが面白い。

【2点】特×1

東京の根っこにゾロリと地下街

吉見恵子

【まあこ】駅も街もどんどん地下に増える東京。「ゾロリ」が上手い。

球根は思索をほぐく土の中

小野善江

【彰子】そうなんだと深く頷かされた作品でした。特にほぐくの表現に共感しました。

【2点】佳×2

蒲焼きの平方根的格差

小野五郎

【与生】意味はわからないが元値にルートを付けると小さくなる。最近の鰻もどぎ製品のことかな?【隆志】蒲

根付かない花ばかり買っう好天日

夏草ふぶぎ

【朱美】わかるような気がする。好天日に花を買いたくなる気持ち。たつぷりとお水をあげなくちゃ!【妙】いい天気なら明るい切り花を飾りたくなりますね。

平方根も葛根湯も根が深い

笹田かなえ

【隆志】学生時代、平方根を手計算で解くのに、どんなに苦労をしたことか。あのころは若かったなあ。【啓子】理屈も意味もないことをしれつと句に。このとぼけた狡さ、好きです。

きいてきいて深くて青い根の話

守田啓子

【かなえ】若い頃の苦い思い出を話せる時が来たのか。「きいてきいて」のひらがな表記に、はにかみが見えて微笑ましい。【朱美】青い根の話って、何?何?聞いてあげますよ!

根開きの山毛櫨トクトクと春の動悸

滋野さち

【いずみ】根開きのブナ林の新緑、雪国の森の春だ。勢いよく水を吸い上げる音を春の動悸とは上手い表現。【州花】ブナも私も春を待つ。

焼きの平方根的格差とは、うまい表現。

弟よいつになったら根づくのか

渡邊こあき

【さち】雨風の強い時期もあったのでしょうか。ゆっくり待ちましょう。【かなえ】内藤やす子の「弟よ」が浮かぶ。ノスタルジックさに心惹かれた。

守るものあつてひたすら根は母性

吉田州花

【柳本恵子】見えないところの頑張り、根はすごいですね。【善江】「根」は母性だったのだとあらためて感じました。

【1点】佳×1

ハローワーク根雪のように人溜まる

小野善江

親族の根が延びてゆく切れてゆく

渡邊こあき

男根並べても少子高齢化

月波与生

共感の根が伸びてゆく文庫本

吉見恵子

通学路がやがやガジュマルの気根

宮井いずみ

水栽培 恥じらい揺れる白いヒゲ

夏草ふぶぎ

おかじょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかじょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

①「Google Chrome」でウェブサイトを開覧する。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているの「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用していても、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出てこなくなります。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずですよ。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます



□ 2024.05.24 第4回草原賞

『未発表の自由吟(雑詠) 3句』【選者】(共選)みつ木もも花(福井県・前回優勝者)／守田啓子(青森県)／清水すみれ(奈良県)／井上一筒(大阪府) 清水かおり(高知県)／新家完司(鳥取県)【投句締切】令和6年5月24日(金) 必着【投句方法】専用用紙(コピー可)に、作品3句と必須事項を記入して送付。【投句先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町18 シオン6 「第4回草原賞」事務局 中野六助 様宛 【投句料】1000円(現金または定額小為替に限る。切手は不可・参加者に発表誌呈)ご投句は各人1組(3句のみ)【賞】各選者による入選句を平抜(49句)3点・秀句(1句)5点で集計しそれらの合計点で優勝・準優勝・第3位を決定。上位3名に賞金を授与いたします。※但し同点の場合は①秀句賞の数②事務局受付順で決定。また各選者の秀句には秀句賞(図書カード)を贈呈。【発「川柳草原」7月号87月中旬に発表予定)誌上にて発表。【問合せ先】その他、ご不明な点がございましたら事務局(中野)までお問合せ下さい。(Tel 090-7107-2006)

□ 2024.06.30 第13回 東北川柳文学大賞募集

【応募資格】東北6県の在住者(災害による避難先は可)【応募用紙】専用の応募用紙(コピー可)。またはA4版の原稿用紙に縦書き。その際冒頭にタイトル・未発表作品10句・郵便番号と住所・柳号(氏名)・電話・所属結社の順で明記。*用紙必要の方は事務局に連絡してください。【応募料】1篇¥1,000(複数応募可)なお、応募時に大賞受賞者句集の予約(句集予約と添書きし、1冊につき¥1,200同封)をいただくと送料無料とします。【締切】2024年6月30日(消印有効)【選者】江畑哲男(千葉)・木本朱夏(和歌山)・雫石隆子(宮城)・駒木香苑(福島)・片倉卯月(山形)・長谷川酔月(秋田)・高瀬霜石(青森)・熊谷岳朗(岩手)【賞】大賞 賞状、記念品、副賞として川柳句集の無料発行権と100冊を授与。【発表】2024年8月中旬予定(受賞者へ連絡)【表彰】10月6日(日)第42回東北川柳連盟盛岡大会 大会席上(予定)【応募先】〒027-0028 岩手県宮古市神林5-25 東北川柳連盟 東北川柳文学大賞係【問合せ】東北川柳連盟事務局 伊藤豊志 Tel/Fax 0193-62-1137 090-8700-1791【主催】東北川柳連盟

■会費拝受【3月受付分】

村井隆行（滋賀県） / 三浦ひとは（黒石市） / 吉見恵子（青森市）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

（〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2）

終着駅 Sin

◆杉野十佐一賞の選者でもある広瀬ちえみさんが編集発行人をしている「What's」2024.04月号に川柳10句とショートコラムの寄稿依頼があり、私なんかでよければと寄稿させていただいた。ちえみさんの依頼の言葉がとても楽しく、そんなところがちえみさんの魅力でもある。せっかくなので、勝手にコラボ企画として（笑）、会員作品を取り上げてみたい◆

トロンボンボンボン春だ
佐渡真紀子
昭和からかっぱえびせんこぼれるまま
水本石華
選挙中の戦争中の食事中 佐藤みさ子
永遠は熱狂的に炒り卵 妹尾 凜
戦争があると潤うパパの会社 鈴木節子
人間に二〇六ある骨の音 叶 裕
親しげな暗闇がある映画館 浮 千草
じっと見るもう戦わぬ手のひらを 鈴木せつ子

雪達磨解脱の時となりけり 川村研治
沈丁花時をいったりきたりして
加藤久子
泥酔の天使の歌に逆らうな 兵頭全郎
ナンカイイコトがうろつく夕間暮れ
竹井紫乙
お互いがセーターを脱ぐために会う
中内火星
回らないレンジに父が入りません（ように）
月波与生
満月を湯たんぽがわり抱いている
鈴木逸志
だいじょうぶにいちばん近いのがひめい
高橋かづき
おつかまりください神は留守ですよ

◆他にも飯島章友さんの多行書きの実験や竹井紫乙さんの「暮田真名の『宇宙人のためのせんりゅう入門』を読む』あたりも楽しく読むことができた◆ Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.05.08 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」5月句会

【投句締切】5月8日（第2水曜日）【題・投句数】『坂』2句【合評句会】5月15日（第3水曜日）青森駅前アウガ5階で14：00～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 * それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓 宛



□ 2024.5.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（7月号分）

【締切】5月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】7/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.06.01 おかげょうき川柳社本社6月句会

【時】6月1日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】5月31日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『コース』/『多』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『水』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.06.12 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」6月句会

【投句締切】6月12日（第2水曜日）【題・投句数】『草』2句【合評句会】6月19日（第3水曜日）青森駅前アウガ5階で14：00～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 * それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓 宛





川柳ステーション

2024年5月10日発行(年12回発行) 第29巻5号通巻362号
 ●発行人/むさし ●編集/Sin ●発行/おかじょうき川柳社 ●表紙題字/金子榮風
 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田中師宮本2の3 ●E-Mail:info@okajoki.com

トークイベント

「川柳しか勝たん！」



暮田 真名さん

暮田真名(くれだまな)プロフィール
 1997年生。東京都出身。「川柳句会
 こんどん」主宰。所属ユニットに「砕氷船」
 「当たり」。著書に句集「ふりよの星」、「宇
 宙人のためのせんりゅう入門」など。

特別選(2句詠・事前投句:6/28(金)♫・欠席投句拝辞)

「星」暮田真名 選

メールで投句:moriko@okajoki.com



宿題(2句詠・二人共選)

「外」 くんじろう(大阪府) 共選
 きさらぎ彼句吾(青森県)

「混」 米山明日歌(静岡県) 共選
 奈良一艘(青森県)

2024.7.6(土) 14時~ (受付開始:13:30)

■場所:リンクモア平安閣市民ホール1階「スケルツォ」(JR青森駅東口より徒歩3分)
 (TEL.017-722-3770/青森県青森市柳川1丁目2-14)

■会費:5,000円(句会・懇親会費込)